

平成 25 年 10 月 24 日
関西広域連合本部事務局

在日米国商工会議所（A C C J）との協調事業の実施結果について
～「日本の活性化、関西の活性化」をテーマとしたパネルディスカッション～

1 実施日時

平成 25 年 10 月 18 日（金）午後 5 時～午後 6 時 45 分

2 場 所

インターコンチネンタルホテル大阪 2 階「H I N O K I」

3 出席者

（関西広域連合）

井戸 敏三（広域連合長・兵庫県知事）

岡西 康博（京都府副知事）

狭間 恵三子（堺市副市長）

細川 成己（和歌山県企業政策局長）

岸田 泰幸（神戸市産業振興局担当局長）

嘉田 由紀子（滋賀県知事）※レセプションから参加

（A C C J）

ローレンス・W・ベイツ会頭（日本 G E ㈱ゼネラル・カウンセル）

ピーター・B・エリオット（日本 Citibank C E O）

ハーマン・J・アーリック（ヒルトン大阪 ゼネラルマネージャー）

アナ・クラスニャック（日本 P & G 人事部長）

ジェリー・メステッキー前副会頭（北浜法律事務所）

4 パネルディスカッションの概要

A C C J による政策提言書「One Kansai」からの投資・観光の促進、グローバル
人材育成について、広域連合のパネリストからは、広域連合や地元自治体の取組内
容の紹介や民間企業への協力依頼、A C C J 側からは行政に対する期待等意見を述
べ合い、これを契機に互いに交流、連携を図っていくことを確認した。

＜パネリストの主な発言骨子＞

テーマ：人材育成について

(狭間 堺市副市長)

- ・関西広域産業ビジョンにおける人材育成の取組と堺市の伝統産業をはじめものづくり産業を支える人材確保・育成についてACCJとの連携を期待。

(アナ・クラスニャック 日本P&G 人事部長)

- ・若者のグローバルな社会に触れる機会の提供増に協力。

テーマ：観光について

(岡西 京都府副知事)

- ・関西の知名度を高める取組として観光プロモーションの実施や関西を一つのパッケージとして売り込んでいく工夫が必要。2020年の東京オリンピックは大きなチャンス。マーケティングが重要であり、ACCJにも協力願いたい。

(ハーマン・アーリック ヒルトン大阪ゼネラルマネージャー)

- ・観光客が増えれば雇用が増える。そのためにも観光客を呼び込む航空業界へのインセンティブを与えるための規制緩和を求める。

テーマ：投資について

(岸田 神戸市産業振興局担当局長)

- ・関西には優れた研究開発環境があり、総合特区を活用した集中投資や国家戦略特区の規制緩和が実現した際の利活用への期待。

(ピーター・エリオット 日本Citibank CEO)

- ・シティ・バンクは日本の各主要都市に配置しており、企業誘致や人材育成、観光分野において各種利用できる商品をもっている。活用してほしい。

(ジェリー・メステッキー 前副会頭(北浜法律事務所))

- ・海外投資を進めていくためには新しい投資を呼び込むための戦略を持つことが必要。投資家の興味を得る計画をたてていかなければならない。

テーマ：関西の活性化について

(細川 和歌山県企業政策局長)

- ・和歌山は化学や繊維などの地場産業で関西のものづくりを下支え。外国人の受入は観光を中心に力を入れているが、海外からの投資は、地域ひいては関西の活性化に繋がるので、ACCJにも協力願う。

まとめ：(井戸 連合長)

- ・関西の課題として科学や医療の成長分野について関西と世界をどう結び付けていくか。研究所、大学、行政をどう結び付けていくか。企業を関西にどう呼び戻していくか。関西を東京に対抗できるよう関西広域連合は取り組んでいく。
- ・ワールドマスタースゲームズの関西招致について、インバウンドに繋がることから大きな期待を寄せており、ACCJにも協力を依頼。